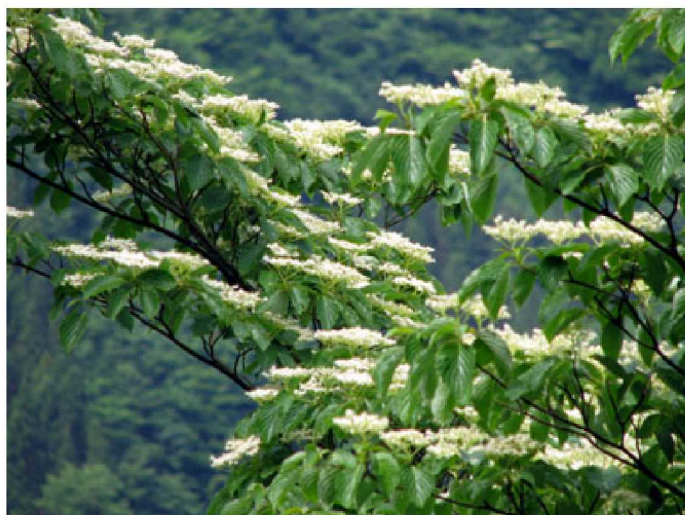
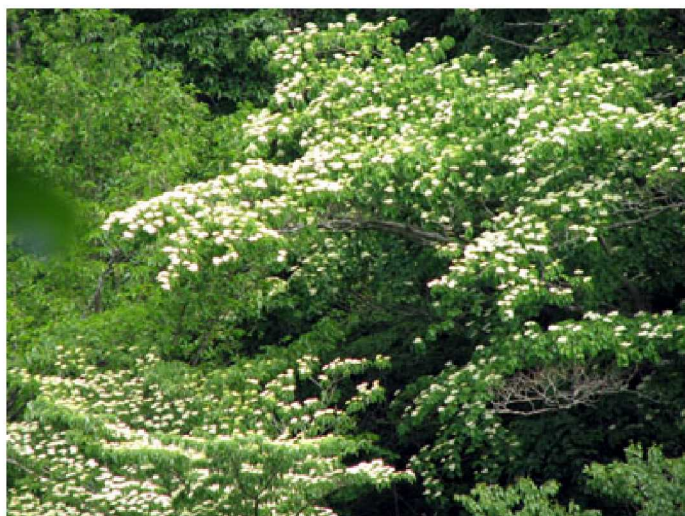
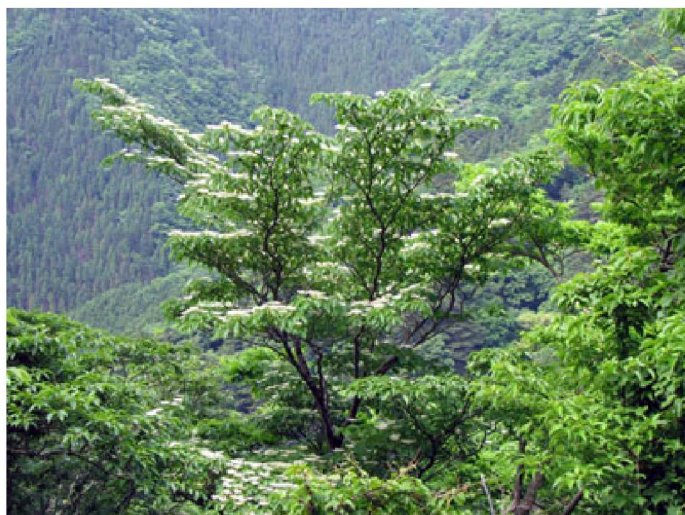


「今月の1枚」





ミズキ （ミズキ科） *Swida Controversa* （Cornacea）

落葉性の高木で、樹高は10～15mになります。北海道から九州まで分布し、四国では丘陵地から山地帯に生育します。

若枝の先に散状花序をつけて、初夏に白い小さな花を咲かせます。秋には直径6mmほどの黒い果実がありますが、この実を鳥たちがよく食べて、糞とともに種子を散布します。

ミズキの果実を食べる鳥としてはヤマドリ、アオバト、ヒヨドリ、オオルリ、ヤマガラ、カケスなどが知られています。

材は白色で軟らかく、細工物や下駄などに利用されます。

（写真：2007年6月5日 高知県香美市西熊溪谷にて撮影）

（写真・文：佐藤 重穂）

（No.221 2011. 6.17 掲載）